

令和8年度 部局マニフェスト

～私たちの組織使命と目標～

部局名	消防本部
役職	消防長
氏名	井上 直丈
連絡先	0595-24-9100



業績目標の標語(指導者評価)
 目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)
 目標としていた達成水準に到達した(100%)
 わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)
 目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)
 目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)
 目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. 1-2	<p>〈これまでの経緯〉 令和7年中84件の火災が発生し2名の死者と4名の負傷者が出ています。 〈目標が達成された姿〉 火災による死者・負傷者をなくします。 〈現状分析〉 人口1万人あたりの出火率「10件/万人」 ※令和7年12月31日時点 〈課題〉 令和7年中84件の火災のうち、火入れ等による原因が60件発生しています。</p>	<p>〈目標数値〉 出火率「8.4件/万人」 ※令和8年12月31日時点 〈達成された状態〉 火入れ等が原因の火災を2割減少させます。 〈手段・行程〉 自治会等へ出向き、林野火災・枯草火災を未然に防ぐための周知と指導を行うとともに、林野火災・枯草火災防止のため、火災予防条例の改正に伴う林野火災注意報、警報の発令等により火入れなどの火の取扱いの制限を行うなど、多面的に強化体制を維持します。</p>	▶	
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. 1-2	<p>〈これまでの経緯〉 高止まりする救急出動件数に対応するため、4月よりデイトム救急隊の運用を開始しています。 〈目標が達成された状態〉 より早い処置で傷病者を適切に医療機関へ搬送します。 〈現状分析〉 令和7年中の救急車現場到着平均所要時間10.9分(三重県内の平均所要時間9.6分) 〈課題〉 デイトム救急隊の効果的な運用の検証が必要です。</p>	<p>〈目標数値〉 救急車の現場到着平均所要時間の短縮1分 〈達成された状態〉 命を救う救急車がより早く到着します。 〈手段・行程〉 デイトム救急隊と24時間救急隊を効果的に運用します。</p>	▶	
◎部局目標3	関連の施策・基本事業No. 1-2	<p>〈これまでの経緯〉 第2期消防本部組織再編計画の2年目です。 〈目標が達成された状態〉 第2期期間中に、計画している事業を完了します。 〈現状分析〉 第2期で計画している東分署と阿山出張所の統合、及び第3期以降の南西部の署所再編に向けて、審議会において基本構想を策定中です。 〈課題〉 基本構想について、市民の合意形成が必要です。</p>	<p>〈達成された状態〉 基本構想について、市民の合意形成を得た上で、東分署と阿山出張所の統合庁舎の建設事業に着手します。 〈手段・行程〉 基本構想についてのパブリックコメントを実施します。</p>	▶	

◎部局目標4	関連の施策・基本事業No 1-2	<p>〈これまでの経緯〉 第3次消防団活性化計画の4年目です。 〈目標が達成された状態〉 消防団が地域防災の要となり地域の安全安心を守ります。 〈現状分析〉 人口減少少子高齢化により消防団員の確保が難しくなっています。 消防団車両の老朽化が進んでいます。 〈課題〉 第4次消防団活性化計画策定に向けて消防団と地域がより密接に関わる必要があります。 車両更新計画に基づいて車両を更新していく必要があります。</p>	<p>〈達成された状態〉 各分団や地域の現状・課題を分団と地域で共有します。 特に老朽化した車両が新たな車両に更新されます。 〈手段・行程〉 分団と地域が話し合いできる環境を整えます。 車両更新計画に基づき新たな車両を購入し、老朽化した車両を処分します。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
--------	------------------	---	--	---